



# 信州大学 教育学部 同窓会報

信州大学教育学部同窓会報  
【第34号】  
発行人 小林 亨  
事務局 長野市西長野6ノ口  
信州大学教育学部内  
TEL・FAX (026)238-4370



## 「身近で役立つ同窓会に」

同窓会長 小林 亨

昨年八月に開催された総会において、信州大学教育学部第十七期同窓会会長としてお認めいただきました小林亨です。長野市出身、昭和五十六年度卒業生です。諸先輩方のご支援のもと、よりよい同窓会になりますように努めてまいります。よろしくお願ひ致します。

令和二年以降の運営の方向として、第一に卒業生や現役の大学生・院生にとって身近で役立つ同窓会にしたいと考えております。具体的には、①様々な情報共有のためのホームページの一層の活用、②各地区、各科・コース、各世代等の活動の充実、③現役学生支援の充実を進めたいと考えています。

ホームページに掲載されている本会会則を見ますと、  
第3条 本会は会員相互の親睦を図り、母校との連携を保ち、その発展に寄与することを目的とする。  
第4条 本会は前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

1 会員の親睦に必要な事項  
2 母校の発展に関する事項  
3 その他必要と認められる事項  
とあり、本会の目的とそとのための事業を知ることが出来ます。さらに事業内容・事業活動報告・各科・コース同窓会活動支援事業申請用紙・教育実践支援事業申請用紙

紙・各科等同窓会活動報告・会報全てのバックナンバー等も、わかりやすく閲覧できます。送付される会報と併せて会員の皆様にぜひご覧いただき、情報共有に役立て、今後の各地区、各科・コース、各世代等の活動の充実につなげたいと考えます。

また、今年は新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受けて、全国に緊急事態宣言が発出されました。会社・事業所への出勤自粛、飲食・芸能・観光関係の営業自粛要請等があり、大学で授業ができない状況も続きました。これに伴い、今年度の本会の幹事会・理事会も書面による議決決議とし、八月十一日に予定していた総会、講演会も中止することとしました。大変残念ですが、ご理解・ご協力をお願いいたします。加えて信州大学知の森基金からは、「新型コロナウイルス緊急学生経済支援」への協力を呼びかける連絡がありました。新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受けて経済的に困窮している信大生が、学業の継続を断念することのないよう、先ずは延べ1,000人の学生を対象に支援する予定である由。会員の皆様にお知らせするとともに、本会も、本年の運営の方向としてぜひ協力してまいりたいと思います。こちらからもご理解の程、よろしくお願ひ致します。

### 第十七期同窓会役員名簿

(令和元年八月～令和三年八月)

名誉会長	宮崎樹夫	顧問	佐野昌男	中田宣彦	三寺勝美
	玉川隆雄	町田修	深澤弘二		
	中澤寛	土屋聖史	宮本伸一		
会長	小林亨				
副会長	吉澤修一	中山久貴	西澤佳代		
監事	原田良介	山岸千賀子			
本部長	清水秀明	池上昭子	畔上一康		
	岩田靖	齊藤忠彦	小林比出代		
	茅野公穂	酒井英樹	伊藤冬樹		
	安達仁美	森下孟			
地区理事	下伊那	中原秀樹	上伊那	島尻英二	
	諏訪	柳平正司	木曾	池田信三	
	北安曇	木下政道	安曇野	宮澤浩	
	松本	坂口克夫	佐久	小林英明	
	上小	片桐芳之	更埴	田中寿一	
	上水内	小林重之			
	須坂上高井	松木智子			
	中野下高井	清水恒善			
	飯山下水内	吉澤秀			
	塩筑	下條寿嗣			
	長野	中村和雄	片山洋一		
	高校	富岡修			
	県外	功刀道子	井出良子		
幹事	和田裕	小池勲	宮尾弘子		
	茅野理恵	村田章子	瀧直也		
事務局	中村直人	新谷静香			

第三十二回 同窓会通常総会報告

1. 日時・会場

令和元年8月11日(日・祝) 午前10時～11時30分

ホテル信濃路『信濃』 長野市中御所131-4

2. 出席者数 33名

3. 開会宣言 池上 昭子 副会長

進行：和田 裕 幹事長

4. 挨拶 宮本 伸一 会長

5. 議事

議事に先立ち、会則第16条に基づき、総会議長の互選を行った。

(1) 議長団の選出

細萱稔・山崎晃の両理事を議長団に選出した。

(2) 議事録署名人の選出と書記の任命

小林重之・清水恒善の両理事を議事録署名人に選出し、森下孟 幹事・村田章子 会員を書記に任命した。

第1号議案

平成30年度事業報告、歳入歳出及び財産目録の承認について

(1) 中村直人 事務局長より資料に基づき、平成30年度事業について説明があった。

(2) 宮尾弘子 幹事より資料に基づき、平成30年度一般会計歳入歳出決算、特別会計決算、基本財産決算並びに財産目録について説明があった。また、原田良介 監事より業務監査・財務監査の結果、適正に処理されているとの報告があった。

原案どおり賛成多数で可決した。

第2号議案

令和元年度事業計画(案)及び歳入・歳出予算(案)の承認について

(1) 中村直人 事務局長より資料に基づき、令和元年度事業計画(案)についての説明があった。

(2) 宮尾弘子 幹事より資料に基づき、令和元年度一般会計歳入歳出予算(案)についての説明があった。

原案どおり賛成多数で可決した。

第3号議案

会則の一部改正について

宮本伸一 会長より資料に基づき、会則の一部改正(案)についての説明があった。

原案どおり賛成多数で可決した。

第4号議案

第17期役員の改選について

宮本伸一 会長より、第16期役員の任期満了に伴う役員の改選についての説明があった。

原案どおり賛成多数で可決した。

6. 来賓祝辞

宮崎 樹夫 学部長よりご祝辞をいただいた。

7. 閉会宣言

清水 秀明 副会長

平成30年度信州大学教育学部同窓会一般会計歳入歳出決算書

歳入合計額 4,911,042円也  
 歳出合計額 4,547,894円也  
 差引残額 363,148円也

自 平成30年4月1日  
 至 平成31年3月31日

翌年度へ繰越

〈歳入の部〉

項目	予算額	決算額	増・△減	備考
1 前年度繰越金	591,027	591,027	0	
2 会費	5,000,000	4,320,000	△ 680,000	216名入金
3 雑収入	1,000	15	△ 985	利子
歳入合計	5,592,027	4,911,042	△ 680,985	

〈歳出の部〉

項目	予算額	決算額	増・△減	備考
1 会議費	580,000	285,441	△ 294,559	総会・役員会等
2 事業費	1,350,000	1,068,259	△ 281,741	会報・学部後援等
3 事務費	1,615,000	1,355,662	△ 259,338	会報発送・印刷等
4 事務委託費	1,586,000	1,562,000	△ 24,000	雇用費等
5 雑費	150,000	126,532	△ 23,468	連合会会費・謝恩会御祝儀他
6 予備費	311,027	150,000	△ 161,027	平昌五輪功労金
歳出合計	5,592,027	4,547,894	△ 1,044,133	

ご挨拶



教育学部副学部長 村松浩幸

同窓会の皆様には、日頃から本学部の運営と学生の勉学に  
対して様々なご支援をいただき、深く感謝申し上げます。本年度、学部入学生242名、大学院生41名を迎えたものの、新型コロナウイルス対応で入学式中止、授業開始延期となりました。

この事態に対し、教育学部では授業や学生の対策チームを素早く立ち上げました。学生らの学びを保証するために、オンライン授業を早急に開始すべく、学部附属の次世代型学び研究開発センターが中心となつて、先生方への研修や支援を他学部にも先駆けて開始しました。先生方に戸惑いもあったかと思いますが、意欲的に取り組んでいただきました。さらに学生の声を調査で拾い上げて先生方に返すことで、短期間で授業改善が図られました。結果として全学並びに全国に誇れるオンライン授業が展開できてい  
ると思われま

さらに、長野や松本のアパートに一人で居る多くの新入生、新2年生に対し、コースごとに先生方や上級生とテレビ会議越しですが顔を合わせたことで、安心感を持ってもらえるようにしました。その他、学生の状況調査や教育実習等への対応も進んでいます。教員採用試験間近の4年生には、オンラインでの面接練習も複数回実施しています。また、各附属学校園においても、テレビ会議での学活やオンライン授業、ネットでのラジオ放送等、各学校の工夫を生かした取り組みが展開されました。これも各附属学校の先生方のご尽力の賜物です。

一方、本年度より、教職大学院においては、教科指導力高度化、特別支援教育高度化といった個別課題への対応をより深める新しい体制、および公認心理師養成を柱にした総合人文社会科学研究科心理学分野が立ち上がりました。さらに、教職員支援機構の地域センターも立ち上がり、教職大学院を中心に、県教委と連携しながら現職教員の研修事業を高度化していく取り組みが開始されました。  
以上のように、困難な状況を次へのステップに行かすべく、教職員一丸となつて取り組んでいますので、同窓会の皆様  
の教育研究へのご理解とご支援を、これまで以上に  
よろしくお願  
いいたします。



学部の新転任・転退職教員の紹介

【令和元年〜2年度新転任教員】

- 杉山 俊一郎先生(言語教育) 令和元年10月1日
- 篠田 直子先生(教育学) 令和元年10月1日
- 山本 大貴先生(言語教育) 令和2年4月1日
- 佐藤 和紀先生(教育学) 令和2年4月1日
- 三和 秀平先生(教育学) 令和2年4月1日
- 白鳥 勝教先生(教職大学院) 令和2年4月1日
- 原 洋平先生(教職大学院) 令和2年4月1日

【令和元年度転退職教員】

- 阿久津昌三先生(社会科教育) 昭和63年4月1日 着任、定年退職
- 和田 哲也先生(スポーツ科学教育) 平成6年4月1日 着任、定年退職
- 東原 義訓先生(教育学) 平成7年4月1日 着任、定年退職
- 田中 敏先生(教育学) 平成20年10月1日 着任、定年退職
- 佐々木洋城先生(数学教育) 平成28年4月1日 着任、定年退職
- 藤森 裕治先生(言語教育) 平成11年4月1日 着任、退職
- 友田 義行先生(言語教育) 平成24年10月1日 着任、退職
- 市川 公明先生(教職大学院) 平成28年4月1日 着任、退職

(長野県との人事交流)

# 生涯スポーツ課程同窓の集い

平成7年(1995年)度に教育学部に開設された生涯スポーツ課程の最後の卒業生(地域スポーツコース、野外教育コース)が、平成31年3月に巣立っていききました。

文部科学省の大学設置基準の大綱化を受け、教員免許を取得しなくても卒業できる課程(いわゆるゼロ免課程)として設置された生涯スポーツ課程ですが、社会情勢の変化とともに、教育学部の新課程(ゼロ免課程)の原則廃止、教員養成課程の入学定員見直しといった方針を受け、その幕を閉じることとなりました。生涯スポーツ課程は廃止となりましたが、野外教育コースは学校教育教員養成課程の中に組み込まれ、信州ならではの自然体験活動、冬季スポーツが指導できる教員を養成するコースとして生まれ変わりました。

21代にわたる卒業生に対し、生涯スポーツ課程が発展的解消となったことを伝えるとともに、一堂に集う場を設けたいという有志が発起人となり、令和元年(2019年)11月3日(日・祝)、「信州大学教育学部 生涯スポーツ課程同窓の集い」が開催されました。全国から約200名の卒業生が集まり、久々の再会を懐かしむとともに、学生時代の思い出を共有していました。

## 生涯スポーツ課程の変遷

年 度	課 程	専攻・コース	入学定員
平成 7(1995)年	生涯スポーツ課程	生涯スポーツ専攻 野外活動専攻	15名 5名
平成 11(1999)年	生涯スポーツ課程	地域スポーツ専攻 野外教育専攻	20名 10名
平成 24(2012)年	生涯スポーツ課程	地域スポーツ専攻 野外教育専攻	17名 8名
平成 28(2016)年	学校教育教員養成課程	野外教育コース	10名

### <同窓の集い 次第>

1. 開会の辞(結城匡啓先生)
2. 藤沢謙一郎先生のお言葉
3. 来賓紹介
4. 乾杯(渡邊伸先生)
5. 学年ごとのプレゼンタイム  
第一部(15E→06E)  
第二部(05E→95E)
6. 平野吉直先生 記念講演
7. 閉会



集いには、開設当時に学部長を務められた藤沢謙一郎先生をはじめ、糟谷英勝先生、渡邊伸先生、渡辺隆一先生、平野吉直先生、非常勤講師として集中授業でご指導いただいている張本文昭先生(沖縄県立芸術大学)にもご参加いただきました。

冒頭での藤沢謙一郎先生のご挨拶では、「念ずれば花ひらく」の言葉で知られる詩人・坂村真民(さかむら・しんみん)の『二度とない人生だから』を引用され、変わりゆく時代にも、常に前を向いて立ち上がる、激励のお言葉をいただくことができました。

「以下、『二度とない人生だから』の引用  
これからこれからと  
春の鳥たちがやってきて 囀(さえず)るのだ  
これからこれからと  
春の花々が咲き出して 告げるのだ

わたしもわたしに呼びかけて 励んでゆこう  
また、当時の学生たちは、言葉にできないエネルギーが身体から溢れていたことを話されていました。一例として、当時の学生が主体となり、「生涯スポーツフェスティバル」というイベントを立ち上げ、地域の子どもたち

立ち上げ、地域の子どもたち



を対象とした各種のスポーツ体験、自然体験を行っていたことを挙げられていました。

学年ごとのプレゼンタイムでは、卒業したばかりの15Eから年代を遡る順番で進んでいきましたが、各年代の発表時間は3分と限られていましたが、近況報告や学生時代の思い出話等、趣向を凝らした発表が行われました。

式の最後では、生涯スポーツ課程開設当時に着任され、現在は信州大学の理事・副学長をされている平野吉直先生より「生涯スポーツ課程の誕生とこれまで」という演題で記念講演をしていただきました。生涯スポーツ課程ならではの実習の様子が、当時の写真を用いながら紹介されました。



### 令和元年東日本台風被災校学習支援

令和元年10月12日に過去最大級の勢力で日本列島に上陸した令和元年東日本台風(台風19号)は、関東甲信や東北地方に大雨を降らせ、甚大な被害をもたらしました。教育学部のある長野市においても、千曲川の堤防が決壊し、約5000世帯が床上・床下浸水の被害を受けました。

本学の在校生・卒業生におかれましても、ご家族、ご友人等、被災された皆様にも、この場を借りて心よりお見舞い申し上げます。

市内の長沼小学校、東北中学校、豊野中学校が床上浸水となり、近隣の古里小学校、豊野西小学校、豊野東小学校は避難所となり、休校となりました。

被災地復興支援のため、全国からボランティアが集まり、多くの大学生が活躍していました。

教育学部の学生も、被災地へ出向いての復興支援のほか、キャンパス内での募金活動、支援物資の募集等が行われていました。

様々な支援の輪が広がる中で、教育学部生ならではの取組として、学習支援ボランティアが行われておりました。

長野市教育委員会学校教育課から本学に依頼があり、「学習チューター」の担当である国語教育コースの西一夫先生が窓口となり、在学生に希望を募りました。

定期試験に向けての学習支援が目的であり、また依頼日が

### 学習支援ボランティア実施校の概要

	期日	学校名	学生数	支援教科
第1回	2019/11/9	豊野中学校	3名	英・数・社
		東北中学校	3名	5教科
第1回	2019/11/10	豊野中学校	2名	数・理
		東北中学校	3名	5教科
第2回	2019/12/2	豊野中学校	7名	5教科
	2019/12/3	豊野中学校	3名	英・数・理
	2019/12/4	豊野中学校	5名	数・理・社
		東北中学校	3名	国・英・理
	2019/12/5	豊野中学校	5名	数・理・社
		東北中学校	3名	国・数・理
	2019/12/6	豊野中学校	5名	数・理・社
		東北中学校	3名	国・数・理
2019/12/9	東北中学校	6名	国・英・数・理	
2019/12/10	東北中学校	5名	国・数・理・社	
第3回	2020/1/11	豊野中学校	1名	数
	2020/1/18	東北中学校	2名	数・理・社
	2020/1/25	豊野中学校	1名	理・社
	2020/2/8	豊野中学校	3名	国・数
	2020/2/15	東北中学校	3名	国・数
	2020/2/22	豊野中学校	6名	国・数・理・社
	2020/2/29 (中止)	東北中学校	3名	数・理・社

平日ということもありましたが、第1回までの短期間に14名の学生が手を上げてくれました。

その後、第3回までにのべ75名の学生が学習支援ボランティアとして活躍してくれました(新型コロナウイルスの影響により、2月29日は中止)。

第1回の様子は11月10日付の信濃毎日新聞の1面でも取り上げられ、本学学生の活躍が紹介されました。

### 学習支援ボランティアに参加して



国語教育コース 武田直樹

台風19号の被災から間もなく1ヵ月となる頃、私は学習支援のため中学校を訪れました。長野県も甚大な被害を受け、未だその最中にありました。私の出身は、長野県です。実家の付近で撮影されたという、千曲川の崖が崩れ建物が飲み込まれてゆく映像が、鮮明に記憶に残っています。信大教育学部のある長野市でも大きな被害が出ていました。千曲川の堤防決壊による浸水です。連日、ボランティアや支援の様々な動きが報じられていました。



そんな中、私の所属する研究室の西一夫先生から、中学生へ学習支援する学生の募集を伺いました。学校も休校が続いていた状態で、子どもたちの学習面や心のケアが心配されました。先生は学校の現状を憂慮し、教育学部生からの支援を繋げられないかと模索されておられました。

子どもたちに何かできることがあれば、という思いで参加しました。赴いた中学校では、延期された試験を間近に控え、集まった生徒たちはそれぞれ勉強に取り組んでいました。私は主に、ある生徒と一緒に数学の問題集を解いていました。その日の時間で因数分解の範囲を終わらせることが出来ました。最後にその子が、もうこんな時間と言っていたことが何よりでした。崩れた日常の中で、希望者での参加です。こちらが何か教える、という立ち位置ではなく、出来るだけ楽しく一緒にいられればと思っていました。

生徒さんと話す中で、無事だった教科書類のこと、家の浸水など、置かれている状況が垣間見えました。帰る際、私は周囲の様子を見ました。歩道橋に水位を示す跡、泥をかぶった広大なリソゴ畑、片付けをされている方々。私にとって、実際に被害の現状を目の当たりにする機会ともなりました。

学習支援の実施に当たっては様々な方の動きがあったのです。これに限らず、ボランティアなどでは需要と供給を繋げる難しさは各所であったことと思います。ほんの僅かですが力になれたのならば幸いです。災害という中で、子どもとどう共にあるのか考える場となりました。



信濃毎日新聞令和元年11月10日(日)版の1面にも取り上げられました。(提供: 信濃毎日新聞社)

# 教育実践補助事業

## 教育実践補助事業のご案内

平成15年度より実施しています同窓会研究補助事業は、令和元年度より、名称を教育実践補助事業に改め、継続して実施しております。その概要についてお知らせします。

本事業の趣旨は、①日々の教育研究、教育実践を大切にし、自らの授業改善に努めること、②専門職としての教師自らの教育研究・教育実践を磨くこと、③教育の振興・改善についての情報を共有し合うことに置かれています。対象者は教育学部同窓会員(同窓会費納入者)で、応募者一律に1万円を補助して

います。応募希望者は、所定の様式「教育実践補助願及び教育実践概要」にしたがって、同窓会事務局(〒380-1854長野市西長野6-1-0)にお申し込みください。できるだけ当該年度の11月末日までに申し込んでください。応募規定の詳細、応募様式等の内容は、同窓会Webサイトをご覧ください。なお、当該年度の教育実践補助は先着10名となっております。受付可能かどうかを確認しますので、お申し込みの際には必ず事務局までお問い合わせください。

## 「自律した学習者の育ちを目指して」

大町市立美麻小中学校 高山 俊彦

山の中の小規模・義務教育学校である本校は全国、県下各地から学校視察や市独自の「特認校制度」で

転入が多い。その要因は①3つの重点活動への取り組みと②地域連携の充実が大きいと思われる。その状況をまとめる。

### ①3つの重点活動への取り組み

○学びづくり：「聴く・問う」から始まる対話活動を基盤として、課題について互恵的に語り合う「協働の学び」で授業を進める。

### 成果 各種調査で思考力、表現力の伸長が見られる。

○体づくり：心と体の安定を図る、週四日、十五分間の「元気アップ運動」・「すこやかカード」を継続し、持続可能な体力向上と健康生活の習慣化。

### 成果 体力テストの数値の向上。運動に対する主体性。

○集団づくり：自治活動や歌声づくりを基盤に、信頼し合う人間関係の構築を目指し、リーダーやフォロワーの関係構築による集団づくりを進める。

### 成果 上級生に憧れる思い。リーダーを自覚し、各活動を進める姿。リーダー性の伸張。

### ②地域連携の充実

○長野県教育功労者賞を受賞されるほどの「学校支援コーディネーター」さんの存在や支援。

### ○地域支援の実際

・三十年を迎えるアメリカ「メンドシノ交流」  
・総合の時間・美麻「市民科(いちみんか)」活動  
花豆株式会社 美麻かるたづくり等々

### ・さまざまな地域協働活動

山菜採り、お山の学校(白樺を使った学習)等々

成果「社会力」：人と関わり、より良い社会をつくらうとする力の伸長。「ふるさとを愛し、語り、想い続ける児童生徒」の実現。

## 令和元年度教育実践補助交付者

	氏名	勤務校・在籍校等	研究課題
1	高山 俊彦	大町市立美麻小中学校	自律した学習者が育つ、義務教育学校のあり方
2	西澤 佳代	長野市立七二会小学校	地域とつながり、生きる力を育む総合的な学習の時間を「ソルガムのレシピを作ろう」
3	吉澤 修一	長野市立朝陽小学校	児童の特性に応じた学びの場を設定するための学校支援体制のあり方
4	酒井 朝羽	信州大学大学院教育学研究科 高度教職実践専攻 教職基盤形成コース1年	PBL 実践における高校教員の探求マインド育成
5	藤牧 博和	長野市立芋井小学校	芋井小学校において多様な学習を保障するための取り組み

※これらの学校の具体は令和元年度の全国へき地教育研究協議会の中でも多くの先生に参観いただきました。さらなる充実に向けて歩みを進めたいと思います。  
※この実践者は、令和元年度末の異動により、令和2年度は本曾郡大桑村立大桑中学校に在職



7年「協働の学び」



1～4年 山菜学習

卒業・修了生の就職状況

就職部長 関 良徳

本学部の就職支援活動に対して教育学部同窓会より多大なご支援をいただき、心より感謝致します。

さて、令和元年度の教育学部卒業生及び大学院教育学研究科修了生の進路状況が下欄の表のとおりにまとまりましたので、ご報告致します。進学者を除く就職率及び教員就職率は昨年度よりも若干上昇しましたが、教員養成課程卒業生に対する教員就職率は低下しました。これは、課程・コースの再編により従来の非教員養成課程を教員養成課程に組み入れた四年前の改組が大きく影響しております。

令和二年度は、新型コロナウイルスの影響もあり、民間企業が採用を控える傾向にあることから、教員志望者数が増加すると予想されます。長野県より公表された教員採用選考要項によりますと、採用予定者数は若干増えており、本学部からの受験者数が増加すれば、教員就職率も上昇するものと考えられます。本学部では昨年度に引き続き、教員採用に実績のある外部企業と連携し、模擬試験や対策講座をオンライン等で実施しております。採用選考の実施形態など、新型コロナウイルスの影響による今後の動向にも注意しながら、適切な対応を進めていきたいと考えております。本学部では皆様からご支援をいただき、教員採用率のさらなる向上に努めて行く所存です。

今後皆様から忌憚のないご意見・ご要望をいただき、就職支援を充実させたいと考えておりますので、宜しくお願い申し上げます。

令和元年度(2020.3) 卒業生・修了生 就職状況

Table with columns for 就職・進学別, 就 職 者, 進 学 者, 合 計, 備 考. Rows include 学部 大学院別, 教 員 養成 課程, 課 程, 部, 教育学部研究科.

(注) ( ) は臨探で内数、○は外国人留学生で内数

Table with 2 columns: 就職率(学部)(進学者を除く) 95.22%, 教員就職率(学部)(進学者を除く) 63.48%, 教員養成課程卒業生に対する教員就職率 57.71%

## お知らせ

## 第33回通常総会は中止します

本年8月11日(火)に計画していました第33回通常総会は、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、本年度は中止いたします。

6月、書面による理事会の審議及び表決により、過半数の賛成が得られましたので、それを受け、最終的に会長判断で決定をいたしました。

通常総会は、昭和63年の同窓会創立以来、毎年途切れることなく開催されてきましたので、大変残念ではありますが、やむを得ない情勢の中、会員の皆様には、何とぞご理解、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

また、書面による理事会において、令和元年度事業報告並びに決算報告、令和2年度事業計画案、予算案についても、賛成多数で承認されました。

これらの議案につきましても、本来総会でも承認されなければならぬわけですが、本年度に限っては、理事会での承認をもってそれに代えることをお認めいただきたくお願い申し上げます。

なお、通常総会での審議を予定していた令和元年度事業報告・決算書、令和2年度事業計画・予算書については、同窓会ホームページに掲載しますので、ご覧いただき、ご質問、ご意見等は、事務局へお届けたいただきますようお願いいたします。

次の総会は、「第34回」として令和3年8月11日(水)に開催する予定です。

新型コロナウイルスの流行が一日も早く終息し、来年第34回通常総会が開催できることを願うとともに、会員の皆様もこの困難な状況を無事乗り越えられることをお祈りいたします。

## 信州大学知の森基金

## 「新型コロナウイルス

## 緊急学生経済支援への協力」の

## お願い

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で、生活費の困窮、学業の継続困難といった学生が増えている状況が深刻になっています。

そこで、信州大学知の森基金では、経済的に困窮している学生が、少しでも安心して勉学に取り組めるよう、できる限りの援助を行うため、「新型コロナウイルス緊急学生経済支援」を行うこととしました。

教育学部同窓会の会員の皆様からもあたたかいご支援を賜りますようお願いいたします。ご寄付にあたっては、信州大学のホームページを開いていただくと特設サイトが設けられていますので、ご覧の上手続きしてください。

## 特設サイト

URL: <https://www.shinshu-u.ac.jp/research/donation/covid19.html>

## 問い合わせ先

信州大学知の森基金事務局  
〒390-8621 長野県松本市旭 3-1-1  
TEL: 0263-37-2688  
FAX: 0263-37-3049  
E-mail: [kikin@shinshu-u.ac.jp](mailto:kikin@shinshu-u.ac.jp)

## 事務局より

○同総会ホームページをご覧ください  
事務局の紹介や同窓会報のバックナンバー等を閲覧することができます。信州大学教育学部 同窓会で検索または、以下のURLを指定ください。  
<http://www.shinshu-u.ac.jp/group/education-alumni/>

## ○教育実践補助受付中

教育実践補助申請を4月より受け付けています。詳細は同窓会ホームページをご覧ください。また、本号の6ページ「教育実践補助事業」の欄をご覧ください。昨年度の助成交付の研究テーマなどが掲載されております。

## ○住所変更をお忘れなく

転居の際には住所変更の届けを事務局宛てにお願いいたします。メールでも結構です。

## ○会費の二重払いについて

同窓会費の二重払いにご注意ください。同窓会費は終身会費です。未納者には、後日、納入願いの書面が届きます。二重払いの場合にはお返ししますが、振込手数料等がかかりますので全額返金はできません。

## ○支部、卒業学科・コース等の同窓会活動支援事業への申請を受け付けています

昨年度、新規事業として「支部、卒業学科・コース等の同窓会活動支援事業」を始めました。

この事業は、会員にとってさらに魅力的な同窓会づくりの一環として始めた事業です。

それぞれの地区ごとや、卒業学科・コース等の同窓会活動を支援すること、同窓会活動への関心を高め、会員相互の連帯を一層高めることを目的とし、その活動に対して、若干の資金を補助するというものです。

詳しくは、同窓会ホームページ「お知らせ」の中の令和元年9月27日の記事をご覧ください。申請書、報告書のダウンロードもできますので、利用してください。

電話 026-238-4370  
月・水・金 9:30 ~ 16:00  
HP <http://www.shinshu-u.ac.jp/group/education-alumni/>  
Email [kdousou@shinshu-u.ac.jp](mailto:kdousou@shinshu-u.ac.jp)

## 事務局連絡先